

事業番号	09 06 08	事業改善シート (27年度実施事業分) <input type="checkbox"/> 予算要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	新規就農里親支援事業 (農業で夢をかなえる支援事業)		担当課	部局 農政部 課・室 農村振興課 E-mail noson@pref.nagano.lgip
総合5か 年計画	プロジェクト	2-3-1 農山村産業クラスター形成プロジェクト 3-4-1 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト	実施期間	H15 ~
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 1 夢ある農業を実践する経営体の育成		

1 事業の概要

目指す姿	県の登録を受けた「里親農業者」が里親研修生を受け入れ、農作物の栽培管理技術等の習得のための実務研修や就農に必要な農地や住宅、施設、機械の確保等の支援をするとともに、就農後も相談等の支援を行い、新規参入者の確保定着に努める。																																										
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 「里親農業者」は平成27年4月1日現在425名が登録 平成27年度は38名が新たに就農に向けて里親研修を実施 平成26年度は里親研修実施者46名が就農 成果目標: 新規就農者数245人(H25)→250人(H29) 																																										
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 農業の担い手確保・育成は県の重点事業であり、研修先と就農先が必ずしも一致しないため県が実施する。 新規就農里親支援事業実施要綱、新規就農里親支援事業実施要領等、第2期長野県食と農業農村振興計画																																									
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27) ○新たな里親研修実施者数: 48人 (設定理由: 年間250人の新規就農者数を達成するために里親研修が担う人数として設定) ○新規就農者数(40歳未満): 250人 (設定理由: 第2期長野県食と農業農村振興計画において年間新規就農者数目標を250人と設定)																																										
	② 事業内容 (単位: 千円)																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">実施方法</th> <th rowspan="2">H27事業実績</th> <th colspan="2">H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 就農相談の実施</td> <td>直接</td> <td>新規就農相談会の実施: 27回</td> <td>681</td> <td>438</td> <td>1,104</td> </tr> <tr> <td>2 里親研修</td> <td>直接</td> <td>就農希望者を受け入れ、栽培技術指導や就農支援を行う里親農業者に対して指導謝金を交付し、その活動を支援: 新規研修実施者38人</td> <td>17,197</td> <td>14,239</td> <td>15,921</td> </tr> <tr> <td>3 里親登録</td> <td>直接</td> <td>就農希望者の就農を積極的に支援する、意欲ある農業経営体を公募し、「里親農業者」として登録: 新規・更新101人</td> <td>134</td> <td>33</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>4 果樹経営起業準備支援事業</td> <td>補助金</td> <td>補助先(市町村) 経営安定まで長い年数がかかる果樹経営を起業しようとする里親研修生に対し、研修中に行う樹園地整備に対して支援</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>18,012</td> <td>14,710</td> <td>27,152</td> </tr> </tbody> </table>					項目	実施方法	H27事業実績	H27		H28	(当初)	(決算)	(当初)	1 就農相談の実施	直接	新規就農相談会の実施: 27回	681	438	1,104	2 里親研修	直接	就農希望者を受け入れ、栽培技術指導や就農支援を行う里親農業者に対して指導謝金を交付し、その活動を支援: 新規研修実施者38人	17,197	14,239	15,921	3 里親登録	直接	就農希望者の就農を積極的に支援する、意欲ある農業経営体を公募し、「里親農業者」として登録: 新規・更新101人	134	33	127	4 果樹経営起業準備支援事業	補助金	補助先(市町村) 経営安定まで長い年数がかかる果樹経営を起業しようとする里親研修生に対し、研修中に行う樹園地整備に対して支援	-	-	10,000	合計			18,012	14,710
項目	実施方法	H27事業実績	H27		H28																																						
			(当初)	(決算)	(当初)																																						
1 就農相談の実施	直接	新規就農相談会の実施: 27回	681	438	1,104																																						
2 里親研修	直接	就農希望者を受け入れ、栽培技術指導や就農支援を行う里親農業者に対して指導謝金を交付し、その活動を支援: 新規研修実施者38人	17,197	14,239	15,921																																						
3 里親登録	直接	就農希望者の就農を積極的に支援する、意欲ある農業経営体を公募し、「里親農業者」として登録: 新規・更新101人	134	33	127																																						
4 果樹経営起業準備支援事業	補助金	補助先(市町村) 経営安定まで長い年数がかかる果樹経営を起業しようとする里親研修生に対し、研修中に行う樹園地整備に対して支援	-	-	10,000																																						
合計			18,012	14,710	27,152																																						
事業 コスト	区 分(単位: 千円)	25年度	26年度	27年度	28年度																																						
	予 算 額	前年度繰越																																									
		当初予算	19,983	19,812	18,012	27,152																																					
		補正予算	-6,000	-3,857	-2,050																																						
		合計(A)	13,983	15,955	15,962	27,152																																					
	Aの財源	一般財源	13,983	15,955	15,962	27,152																																					
		県債																																									
	国庫支出金																																										
	その他	0	0	0	0																																						
ト	決 算 額(B)	13,075	10,872	14,710																																							
	概 算 人件費	職員数(人)	1.50	1.50	1.50	1.50																																					
		概算人件費(C)	12,387	12,387	12,414	12,414																																					
	概算事業費(B(A)+C)	25,462	23,259	27,124	39,566																																						
目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 40歳未満の新規就農者数については、新規就農希望者の習熟度に応じた相談活動の実施、青年就農給付金事業(準備型)等を実施したが、景気の回復基調により第2次、第3次産業の求人倍率が増加したことから、目標を下回ったと見られる。 新規里親研修開始者については、前年度前倒しで3月に研修を開始した者が8人いたこと、里親研修を予定していたが就農希望者の経済的理由等により研修開始を断念した者がいたこと等により、目標を下回った。 																																										

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 県外から長野県内での就農を目指す新規就農希望者に対する支援策として、里親、里親研修生双方の評価が高い。平成28年度に定植から収穫まで一定期間を要する果樹の就農支援策を創設し、事業の拡充をして実施している。より充実した研修により就農初期の経営安定につなげ、定着率を高める視点で研修事業を見直す。
--------------------	---